

平成21年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）
事後評価結果

研究課題名	フェロモン系を介する視床下部・辺縁系機能の制御	研究代表者名 (所属・職)	森 裕司(東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授)
-------	-------------------------	------------------	----------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄	評価基準	
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題は、実体が明らかでなかった哺乳動物フェロモンを同定し、フェロモンを介した制御系の解明に新しい研究の展開を計ることを目的としたものである。

大変困難な課題に挑戦し、最終的にヤギの雄効果フェロモン活性を示す分子（群）の単離・構造決定に至ったことは画期的な成果であり、ヤギとヒツジのフェロモン受容機構に高い類似性があることを見出したことは、応用的な価値も高い特筆すべき成果である。

今後は成果の積極的な公表が期待される。

このように、本研究課題は幅広い関連研究領域に新しい発展をもたらすと期待される成果を達成しており、学術創成研究費として高く評価される。